

競技注意事項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2020年日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項によって運営する。
- (2) 競技者招集について
 - a 招集場所は、第4ゲート付近に設ける。
 - b スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻1時間前より掲示する。（招集開始時刻までには、招集場所に集合すること）招集開始時刻より点呼を開始する。
 - c 競技者本人がアスリートビブスの確認を受けること。
 - d 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。ただし、**2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前に召集所にその旨を申し出て役員の指示に従うこと。**
 - e 欠場する場合は、招集開始時刻までに召集所に置いてある「欠場届」に必要事項を記入し提出すること。
 - f 召集所から競技場所への移動は係員の指示に従うこと。
 - g 混成競技においては、1日目、2日目の第1種目は召集所で招集を受けること。ただし、第2種目目以降は混成控室にて点呼（トラックは競技開始の10分前、フィールドは40分前）をとった後、混成競技係の指示により競技場所へ移動する。
- (3) アスリートビブスについて
 - a 競技者は競技中、胸と背にはっきりと見えるように主催者が用意した2枚のアスリートビブスを付けなければならない。跳躍種目の競技者は胸または背のどちらか一方でもよい。
 - b トラック競技に出場する競技者は、大会本部が用意する写真判定用の腰ナンバー標識を右やや後方に付ける。
 - c 混成競技最終種目では、総合順位の高い競技者から順番に「1」「2」「3」と順位を示す大会本部が用意するアスリートビブスを使用する。
 - d 4×400mRの第1～3走者は左腰に付け、第4走者は左右両腰に腰ナンバー標識を付ける。
- (4) トラック競技での不正スタートは日本陸連競技規則162条の規定通りとする。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。また走高跳及びやり投の場合は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。
- (6) シューズの靴底（ソール）の厚さについて（WA規則第143条TR5に準ずる）
 - a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - b トラック種目について、800m未満の種目（4×100mR、4×400mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
 - c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳は25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソール厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。
- (7) 組・走路順および試技順について
 - a トラック競技における予選ならびに決勝のみのトラック競技の走路順およびフィールド競技における試技順はプログラム記載の通りとする。
 - b トラック競技における決勝の走路順は番組編成員により公正に抽選し、掲示板に貼りだす。
- (8) リレー競技について
 - a リレーのオーダーは、予選・決勝とも所定のオーダー用紙に記入し、1組目招集完了時刻の1時間前までに招集場に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。一度申告したその後の変更は医務員の判断がない限り認められない（競技規則第170条11）ので注意すること。
 - b リレーに出場するチームは、同一のユニフォームを着用すること。
- (9) 跳躍競技のバーの上げ方等について
 - a 下記の通りとする。ただし天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。1位の決定を要するときは、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって決定する。

走高跳	男子	練習 1m70 1m90	1m75 1m80 1m85 1m90 1m95 以後3cm
	女子	練習 1m40 1m50	1m45 1m50 1m55 以後3cm
混成走高跳	八種 (2ピット)	練習 1m40 1m60	1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 以後3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
	七種	練習 1m10 1m30	1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 以後3cm
棒高跳	男子	練習 3m50 4m00	3m60 3m70 3m80 3m90 4m00 4m10 以後10cm
	女子	練習 2m30 2m70	2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 2m90 以後10cm

- b 三段跳の踏切板は、砂場まで男子12m、女子9mとする。 ※棒高跳の練習はゴムバー使用

(10) フィールド競技について

- a フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- b コーチングエリアを設ける。そのエリア以外での助言等は禁止する。

(11) 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助力については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認め、競技者が視聴可能なコーチングエリアとする。また、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該エリアから離脱するような行為、文書をもって連絡することは認めない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器などを競技場内に持ち込むこともできない。

(12) 競技用具について

競技に使用する用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし男女のやりについては競技場に2本以上無い物については競技実施日の検査（競技開始1時間30分前から1時間前まで）で合格した用具を使用できる。棒高跳用のポールは検査の上、各自が持参したものを使用する。

検査を経て合格した投てき物に、主催者の用意するシールを貼るので、競技終了まではがさない。この場合、個人所有の投てき物については一時的に競技場備品としての扱いとなるので、他の競技者との共用になる。また、返却は当該種目の競技終了後に返却場所にて行う。検査場所及び返却場所は、補助競技場横倉庫内とする。なお、破損に関して主催者側は何ら責任を負わない。

2 表彰について

各種目とも8位までの入賞者は成績発表後、本部前で表彰を行うので受表彰控所に集合のこと。（競技役員の指示に従うこと）

3 応援について

- (1) 本競技場内での声を出しての応援は禁止とする。メインスタンド最前列に立っての応援は禁止する。
- (2) メイン競技場内でのテント設営を禁止する。
- (3) ホームストレート延長線上のサイドスタンドでのテント設営、横断幕、のぼり旗は禁止する。
- (4) 横断幕・のぼり旗などの応援布はメインスタンド最上段および芝生スタンド上段のみ許可する。

5 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。

6 その他

- (1) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に順守すること。規定外の見えないようにテープを貼って対処すること。
- (2) トラック種目の衣類運搬について
100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mRの第4走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの1～3走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。
- (3) メインスタンド下通路（大会運営室側）は、競技者の通行ができない。トラック競技終了後は第1ゲートから出てスタンドの外側を通ること。ただし、フィールド競技が終了し競技役員誘導の退場の際も認める。
- (4) 本競技場および補助競技場の開場について
10月22日（木）は13時00分、23日（金）は9時00分、24（土）・25日（日）は7時00分とする。
- (5) 学校受付は、福井県営陸上競技場正面玄関ロビーにて行う。場所取りは23日（金）9：00からとする。
10月22日（木）は12時45分から17時00分まで、23日（金）は8時45分から、24日（土）・25日（日）は6時45分から行う。リストバンドの受け渡しは学校受付でおこなう。
- (6) テントの設営場所は、本競技場外周囲の芝内、補助競技場の芝内でフィールド以外とし、補助競技場内には県営テント設置エリアを指定する。ただし、運動公園事務所周辺、本競技場正面入口前、体育館周辺の芝内は禁止する。
- (7) 混成競技者控室は、本競技場メインスタンド1階雨天走路の正面玄関ホール側に設ける。
- (8) 写真・ビデオ等の撮影については撮影禁止エリアでの撮影は禁止する。
- (9) 競技時、練習時以外はマスクを着用すること。
- (10) スタンドではソーシャルディスタンスを確保、各自が感染拡大防止対策を取ること。